日野・生活者ネットワーク

日野市議会議員

白井なおこ

しらい・なおこ

REPORT

https://shirai.seikatsusha.me/

日野・生活者ネットワークニュース　白井なおこ REPORT　VOL 29
発行日：2025 年 12 月 20 日　発行：日野・生活者ネットワーク
発行責任者：出沼恵美子
〒 191-0062 日野市多摩平 2-3-12　中央日石ビル 4 階
Tel:042-514-8695　Fax042-514-8697　E-mail：hino-net@cap.ocn.ne.jp

みんなで創ろう日野（まち）のこれから

女性への暴力をなくそう！とフラワー遊説を続け、ジェンダーかるたも制作。

白井なおこの決意

生活者ネットワークは、議員がローテーションしながら政策をつなぎ、実現に向けてともに取り組む地域政党です。2期目の4年間では日野ネットの悲願であった子どもオンブズパーソン制度ができたこと、提案した気候市民会議が実現したことなど、これまでの活動をつなげた、とても喜ばしいことがありました。

一方で、北川原公園ごみ搬入路訴訟の債権放棄、一連の元副市長問題が尾を引く中、日野市の財政難と、市政に携わる重責と葛藤した4年間でもありました。皆さまからいただいた一議席を、あらゆる角度からアプローチし、精一杯活かしてきました。

4年後の2030年は、SDGｓの目標達成年です。私のモットーであるThink Globally, Act Locally（地球規模で考え、足元から行動する）を3期目の目標として、さらに皆さまとともに広げていきたい。

もう一つ私の原動力である「もったいない！」の精神を、食、エネルギー、まちづくり、人とのかかわりなど、全てに活かすため、全力で3期目に挑戦します。

生活者ネットワークの3つのルール

ルール 1
議員は交代制（ローテーション）

ルール 2
議員報酬は市民の政治活動資金に

ルール 3
選挙はカンパとボランティア

東京ネットのよびかけ

白井（しらい）なおこ　profile

■1971年10月埼玉県に生まれる。翌年日野市に転入。光塩幼稚園卒園・南平小学校卒業■87年日本女子大学付属中学校卒業、同付属高校卒業■94年日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒業。卒業後、東京・福岡・京都で舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる■2012年滋賀県大津市に転居。滋賀県大津市男女共同参画審議会公募委員、滋賀県嘉田由紀子知事（当時）主宰の未来政治塾に第1期生として学ぶ■13年日野市に転入。生活クラブ生協に加入、まち日野三沢コミュニティを立ち上げ、活動する■14年東京都児童福祉審議会公募委員■17年日野・生活者ネットワーク政策委員■18年日野市議会議員初当選
■22年日野市議会議員に二期目当選
●日野市三沢在住●旧姓：加藤

●日野・生活者ネットワーク白井なおこの活動を紹介します。

みんなで創ろう日野（まち）のこれから

白井なおこの４つの提案

人を、みどりを、まちをケアする、ケアを真ん中に地域から政治を変えていく。自分も他人も共に幸福にしながらつながることで、いまと未来をともに豊かにする循環をつくりだしたいと願い、白井なおこ３期目の挑戦に向け、今後４年間の重点政策をかかげます。

ＳＯＳが届くまち

―声をあげやすく、声にならない声にも気づけるように―

- 市がケアラー支援の姿勢を内外に示す「ケアラー支援条例」をつくり、ケアラーがケアの限界を迎えることのないよう声をあげやすい仕組みをつくります
- 子どもオンブズ・パーソンは子どもの味方！まずはその周知を徹底します
- 住まいは人権！貸し手・借り手ともに安心できる体制づくりを整えます。

食とエネルギーの地産地消を

―もったいない！地域の恵みは地域で活かし、循環させていこう―

- 気候危機は食糧危機！有機農業の取り組みを応援し、地産地消をすすめます
- 新しいタイプの太陽光パネルの普及にも取り組みながら、余剰電力の売買ができる地域エネルギー会社の設立など、エネルギーの地産地消の仕組みづくりをすすめ、原発に頼らない社会を地域から構築します
- 生ごみは資源！自宅や学校等でのコンポストの更なる普及、コミュニティガーデンなどでの拠点回収を広げながら、生ごみ回収を増やし、できたたい肥を活用します

グリーンインフラを活かすまち

―緑と清流のまちだから。自然の力を最大限に生かし、防災にもつなげよう―

- 農地はコモン！公共の財産としての価値を共有し、公有地化の具体的な検討を市民と共にすすめます
- 雨水は貯めて活かそう！災害時の生活用水や夏場の打ち水などにも使える雨水タンクの設置をすすめます

じっくり対話で市民自治

―政治は生活をよくする道具！大事なことは市民が決めよう―

- 市民の願いや活動を予算に反映できるよう、市民参加型予算枠をつくっていきます
- 情報は市民の財産！公文書管理に関する条例づくりをすすめます

白井HP

「農業者と農地を守ろう！」令和の百姓一揆トラクターデモに参加

食もエネルギーも地産地消

日野市は、水と緑の豊かなまちです。かつては、多摩の米蔵とも言われるほどの田んぼや畑が広がる地域でした。しかし、農業経営が行われている農地の面積はここ10年で40％減少（※）しており、何もしなければどんどん日野市の農地は無くなっていきます。

後継者がいない生産緑地を借り受け、農地として残すために、市民交流が生まれるコミュニティガーデンを全域に広げ、農地を一部でも公有地化していけるよう取り組みます。また、農業者を市民が支える取り組みを拡げ、地産地消もすすめます。

エネルギーも同じです。気候危機の中、原発に頼ることなく、地域での再生可能エネルギー促進の仕組みをつくり、地域での利用を進めなくてはなりません。そのために地域エネルギー会社の設立を目指します。

３期目の仕事として、食とエネルギーの地産地消を広げていけるよう、全力で取り組んでまいります。

※農林業センサス：平成22年～令和２年

日野・生活者ネットと白井なおこの提案で実現！！

- 環境基本条例の制定●気候市民会議の開催●公共施設への再生可能エネルギー導入
- 援農ボランティア養成講座「農の学校」の開催●給食の残渣をたい肥化施設へ搬入
- 子ども条例の制定●子ども条例委員会の設置●子どもオンブズパーソン制度の導入
- 福祉オンブズパーソン制度の導入●全小中学校での男女混合名簿の実施●香害対応・給食かっぱう着の持参ＯＫの全校化●内部通報に関する条例の制定●パブリックコメントの事前告知●ドッグランの設置●洪水ハザードマップの作成　など

白井なおこさんを応援します！

大河原まさこ	衆議院議員／元東京・生活者ネットワーク都議会議員
浅倉むつ子	早稲田大学名誉教授
天笠　啓祐	ジャーナリスト
堀　利和	視覚障害者・元参議院議員
椿　多見子	多摩南生活クラブ生協・理事長
岩永やす代	東京・生活者ネットワーク都議会議員
執印真智子	元都議会議員
出沼恵美子	元日野市議会議員
古池　初美	元日野市議会議員

2026年２月15日（日）は、日野市議会議員選挙の投票日です。〔告示：２月８日／期日前投票：２月９日～14日〕